



營業力向上研修營業行動報告

4 班 坪田 絵里加
 足滝 泰平
 小林 剛
 佐々木 千鶴
 西野 真矢
 萩原 駿介

はじめに・・・

営業対象施設： 福井県立美術館

聞き取り調査概要・分析結果：

- ・来館者...10代および30～50代の年齢層が中心
年1回もしくは初めての来館者が多い
77%が自家用車での来館
公共交通機関の利用は数%程度
- ・美術館は若年層を取り込み、リピーターとしての来館を望むが、若年層の利用は少ない
→若年層の来館を牽引する親世代、祖父母世代等、幅広い年代への周知が必要
- ・駐車場の収容台数が少ない
→来館者の公共交通機関の利用促進が必要
- ・ポスター、パンフレットは余部があるため使用可能

営業行動概要その1

テーマ: 各種公共交通機関の起点となる福井駅周辺において、休日を活動的に過ごす層を対象に企画展の宣伝活動を行い、幅広い年代への周知と来館時の公共交通機関の利用促進を図る

営業実施日: 平成24年10月20日(土) 10:00~12:00

営業実施場所: 福井駅周辺

(福井駅西口広場歩行者空間および自由通路)

営業対象者: 福井駅周辺において、休日を活動的に過ごす層

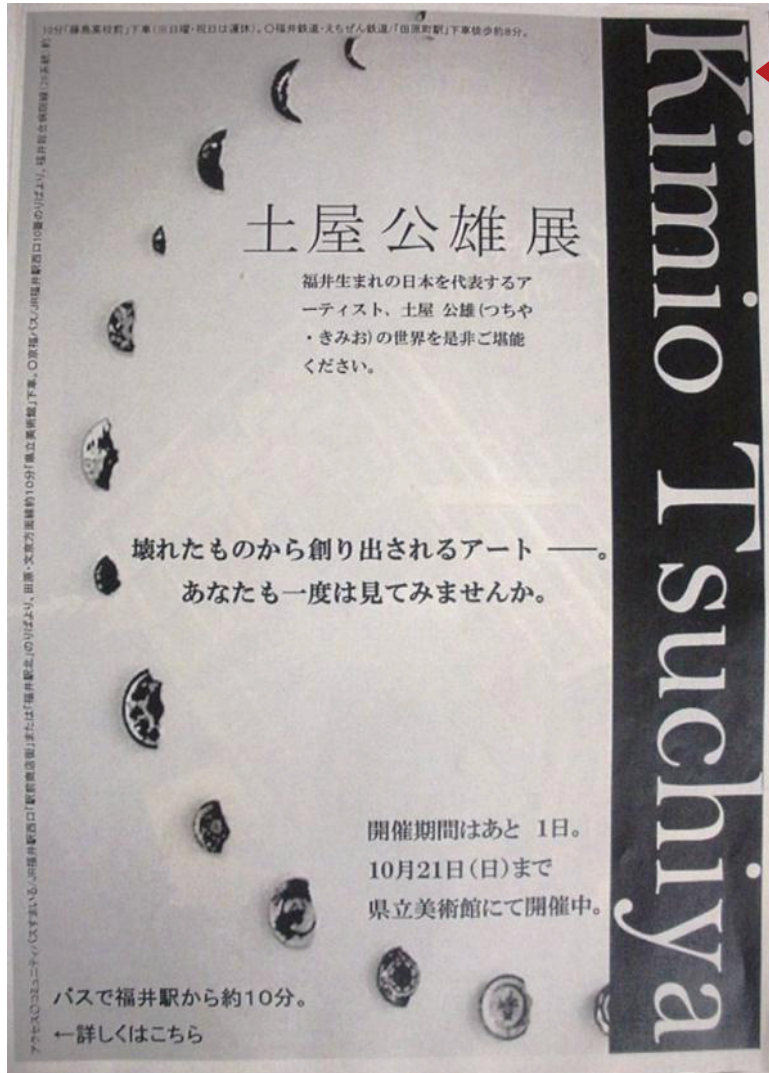
活動内容: ・企画展(土屋公雄展-夢のあとに/交差する時間- 平成

24年9月16日~10月21日)をPRするチラシの作成

・チラシと企画展パンフレットを組み合わせた配布物の作成

・福井駅周辺での配布活動(目標配布部数300部)

営業行動概要その2 ～配布資料～



←チラシ



↑
←企画展
パンフレット
(裏・表)

営業行動成果その1

- ・作成した配布物300部に加え、パンフレット余部50部を配布達成
- ・配布活動後の休日（10月20日、21日）の来館者数は、企画展開催以降の休日の平均来館者数を大幅に上回った（団体、招待等による来館者を除く）

来館者数：10月20日（土）：74名（平均来館者数43.5人）

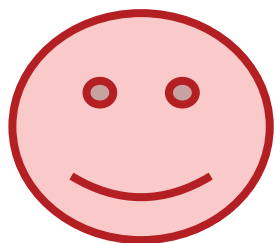
10月21日（日）：99名（平均来館者数54.4人）

- ・アンケート結果より、配布活動後の休日の来館者の約8割がチラシによって展覧会を知ったと推察された（アンケート回答率2.5%）
- ・来館者の交通手段については、アンケート未回答が多く、営業行動の成果は判然としなかった

営業行動成果その2 ～活動風景～



成功点および要改善点



- ・目標配布部数の達成
- ・配布場所・配布時間の設定
- ・要点を絞ったチラシの作成
- ・チラシのデザイン
- ・配布活動後の休日の来館者の増加



- ・目標配布部数の設定
- ・営業活動から企画展終了までの期間が短かった
- ・公共交通機関の利用促進について、成果が判然としなかった

今後の営業活動への提案

【アンケートの回答率を促進する】

アンケートに回答しやすい環境作り
アンケートの内容・様式の検討

【様々な広報媒体の利用】

チラシの配布および、配布場所の検討
テレビ、新聞等での告知
告知の時期、時間帯の検討
バス、電車の中吊り広告
チラシ、ポスターのデザインの検討 など

【展示を理解し、楽しめるイベントの実施】

トークショー、ウォークラリー、お絵かき など